



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、マイクロソフトおよび SAP、 Open Data Initiative の最新の進展を発表 各社が結集することで、データ接続と、AI およびインテリジェントな サービスによる強力なインサイトの収集が可能に

※当資料は、2019 年 3 月 27 日に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2019 年 3 月 28 日】

米国ネバダ州ラスベガス発：Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 アドビ) の CEO シャンタヌ ナラヤン (Shantanu Narayen) と Microsoft (Nasdaq: MSFT、以下 マイクロソフト) の CEO サティア ナデラ (Satya Nadella) 氏は、Open Data Initiative (ODI) に関する新たな詳細を、業界をリードする顧客体験のカンファレンスである Adobe Summit 2019 にて発表しました。このイニシアティブは、昨年 9 月にアドビ、マイクロソフトおよび SAP (NYSE: SAP) が発表したビジネスデータへの新たなアプローチで、クラウドから得られるリアルタイムなインサイトを通じて、企業が顧客体験を変革できるよう支援します。

昨年 9 月に 3 社は、共通のアプローチと一連のリソースを発表しました。このイニシアティブは、サイロ化されていたデータ間で新たな連携を図り、よりシームレスにインテリジェンスを集め、最終的にブランド企業が顧客とのインタラクションをより良く理解することを目的としています。

Open Data Initiative は当初から、共通のデータモデルとユーザー企業が選んだデータレイク内に保存されるデータを介して、3 社のアプリケーションとプラットフォームとの間の相互運用性を高めることに注力していました。この共通のデータレイクを基に、ユーザー企業は自ら選択した開発ツールやアプリケーションを使ってサービスを構築し、展開することが可能になります。

3 社は、このプロセスを改善するため、Adobe Experience Platform から初期のデータフィードを配信、補完、抽出でき、さらに Adobe Experience Cloud、Microsoft Dynamics 365、Office 365 および SAP C/4HANA を介して顧客側データレイクで稼働できる、新たなアプローチを今後数か月の間に提供する予定です。これにより、人工知能 (AI) とマシンラーニングによるさらなる強化が実現することで、新たなインサイトを取得し、より優れたサービスを顧客に提供できます。

共通の導入企業である Unilever は、初期段階から Open Data Initiative への支援を表明したグローバルブランド企業のひとつです。Unilever はこの度、これらのデータ接続に基づき、複雑化

していたビジネス成果を簡素化して意向を発表しました。

Adobe Summit 2019 にて Unilever が、分断化された顧客、製品、リソース関連のデータを統合し、AI によるインサイトを使用することで、プラスチック製梱包を減らし、顧客によるリサイクルを促進していくことができると説明しました。Unilever は、データのサイロ化を減らすことで、在庫とプラスチックのデータを Adobe のデータと連携させ、顧客体験と顧客からの関与を強化できます。

また、アドビ、マイクロソフトおよび SAP は、このイニシアティブの発展を加速するため、Partner Advisory Council を発足することも発表しました。このカウンシルは、Accenture、Amadeus、Capgemini、Change Healthcare、Cognizant、EY、Finastra、Genesys、Hootsuite、InMobi、Sprinklr および WPP などの 10 社を超える企業から構成され、様々な業界と顧客セグメントに渡ります。各社は、Open Data Initiative によってそれぞれの顧客に対し新たな価値を提供できると期待しています。

WPP の CTO であるスティーブン プレトリウス (Stephan Pretorius) 氏は、次のように述べています。「WPP のお客様は行動に関するデータ、CRM、ERP、その他の社内データを一体化して、それぞれの顧客を包括的に把握する努力をしていますが、データ統合に伴う課題に苦労しています。この分野でアドビ、マイクロソフトおよび SAP がイニシアティブを発足したことを喜ばしく思うと共に、Open Data Initiative の発展に貢献できる大きな機会があると考えています。」

アドビについて

アドビは、世界を変えるデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[web サイト](#)に掲載されています。

マイクロソフトについて

マイクロソフトは、インテリジェントクラウド、インテリジェントエッジ時代のデジタルトランスフォーメーションを可能にします。「Empower every person and every organization on the planet to achieve more. (地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする)」を企業ミッションとしています。

SAP について

SAP は「cloud company powered by SAP HANA」としてエンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェアの市場をリードし、あらゆる業種・規模の企業の成功を支えています。世界中の商取引売上の 77% は何らかの SAP システムを使用しており、SAP のマシンラーニング、IoT、高度なアナリティクスの技術は、企業のビジネスを「インテリジェントエンタープライズ」に変革していくことに寄与しています。

SAP は、人々や組織が的確なビジネス判断を行うための洞察力を深めるサポートをし、高い競争優位性を実現するための協業を促進しています。よりシンプルになった SAP の技術により、企業はボトルネックにわずらわされずに目的に沿ってソフトウェアを最大限に活用できるようになります。SAP のエンド・ツー・エンドのアプリケーションスイートとサービスは、42 万 5000 の企業および公共事業のお客様が利用し、ビジネスにおいて利益を上げ、絶え間ない変化

に適応し、市場における差別化を実現するサポートをしています。お客様、パートナー、社員、ソートリーダーなどのグローバルネットワークを通して、SAP は世界をより良くし人々の生活を向上させることに貢献しています。(www.sap.com)

© 2019 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.